

平成30年度 社会福祉法人べっぷ優ゆう 事業報告書

1. 法人の活動状況

平成30年度（平成30.4.1～平成31.3.31）では、法人の新たな軸となるグループホーム事業をスタートさせることができました。この一年で運営面での様々な課題が提起され、それら課題の克服に向け継続的な取組みが求められています。

この施設整備事業は、準備から足掛け3年を要し、大分県や別府市の補助事業として財政的な支援を受け、本年度受けた大分県の監査も無事クリアとなりすべてのステップが完結することとなりました。（財政的援助団体等監査、11月8日実施、3月4日結果通知、写し末尾添付。）

法人は、現在、就継B型、生活介護、放課後等デイサービス、共同生活援助（短期入所含む）、相談支援と5つの現場で利用者支援を担っています。とりわけ本年も大きな事故や深刻な問題の発生もなく経過できたことには感謝の念を禁じえません。

一方、本年度、障害者総合支援法、児童福祉法に基づく福祉活動の報酬改定が始まりました。

期首で就継B型、放課後等デイ併せて600万円以上の減収が予想されていましたが、タイミングよく就継B型、生活介護で利用者の増加、利用率の向上によりプラスに転じ、結果、ほぼ減収分を吸収できたことは大変大きな成果となりました。

国の財政健全化のもと社会保障費の削減傾向は止まりません。障害福祉制度においても同様の動きは強まる一方ですが、法人を支える新たな事業を見出すまでは現在の事業を効果的に組み合わせ、最大のパフォーマンスを発揮すべく努力していくことが求められています。

（1）事業の実施概要と成果

①運営安定化と地域ニーズへの対応、ヘルパーステーションの事業化

- ・グループホームでは人員の確保、従事時間帯の工夫、夜間支援加算の検討などにより当初想定した赤字幅は圧縮できましたが収支均衡には程遠く、一層の工夫が求められています。
- ・ショートステイは地域に施設が少ないこともあり期待の大きさを感じさせます。ただし報酬が低くいため次年度より個人利用料の値上（1日500円）を予定せざるを得なくなりました。
- ・ヘルパーステーションについては、多機能事業の利用者を想定しニーズの検討を行ってきましたが期待できるほどの効果が想定できないため中断としています。

②国や行政、地域社会への働きかけ

- ・地域への働きかけは、月2回の朝市、きずなコンサートを継続しました。市営住宅の再開発事業により朝市は本年度で中断となります。
- ・市の自立支援協議会、支援学校との連携、福祉フォーラムへの参加を通し地域

の福祉問題への取組みを行っています。

- ・きょうされんへの関わりは、作業所連携の利用者活動（なかまネット）のみが主となり支部の課題対応には取り組めませんでした。九州ブロック学習交流会ではグループホームの職員がレポート発表を行い、5名の職員が参加することができました。
- ・職員会議での情勢等勉強会については喫緊の協議が優先され十分ではありませんでした。

③事故防止の取組み

- ・「安全な支援のための手引き」やヒヤリハット活動は会議や所内研修場面で取り上げる機会がほとんどなかったため低調な取組みとなりました。
- ・避難、防火訓練は消防立会いの実施でしたが、内竈拠点では「南海トラフ」の津波避難訓練を含め3回必要との指摘を受けました。次年度より計画に盛り込むこととします。

④職員の専門性及び資質の向上

- ・相談支援初任者研修などの職務関連研修やきょうされん九州(5名)、全障研(1名)の大会参加を除き自主的な参加は2件2名のみと低調でした。研修テーマのピックアップ、声掛けなどの努力不足を痛感しています。
- ・所内研修は継続し日々の支援に生かされつつあることを実感します。
- ・職員会議の進め方(回数・時間、議題構成、進行方法)の工夫、何を共有し職務につなげていくかの工夫が見られました。
- ・年2回の職員面談は十分に実施されたとは言えません。実施方法の再検討が求められます。

⑤作業や活動を通しての仲間支援

- ・利用の仲間にとってわかりやすく、見通しや意欲が持て達成感や自信につながる作業や作業環境の工夫に取り組ましました。使う道具が作業を容易にする、わかりやすく意欲を誘うことにつながっています。(生活介護) 経験の浅い仲間の衛生意識(マスク、キャップ装着の方法)、袋詰めでは視覚的なマニュアルを整備、活用しました。(クッキー)
- ・国民文化祭への参加が実現しました。普段作業になじめない仲間が美術制作の出品を目標に意欲的な取組みが持続し、高い評価も得ることができました。他の仲間も展示会を観覧し日常の作業とは異なる刺激を得たようです。(紙漉き)
- ・ミキサーなどの機器導入で生産環境が大きく変化したクッキー工房では、同じような課題を持つ仲間で作業グループを形成し、共通の支援テーマでサポートする取組みを始めました。(例えば、①個別対応が必要 ②作業は正確、でも次に移るのは苦手 ③自分の判断で働ける、といったグループ)

⑥生産性・売上の向上、工賃アップ

- ・工賃向上三ヵ年計画を策定し大分県へ報告しましたが、期待水準と現実のギャップも大きく実施課題の徹底した取組みが必要となります。
- ・クッキーの生産力増強では、(財)ヤマト福祉財団の助成金を活用しミキサーと成型機の導入を、また、自費により冷凍庫を増設し一定の整備ができました。

- ・新規の販売先を5件ほど開拓しましたが全体に影響する規模ではありません。継続的で地道な取り組みが必要となっています。

(2) 事業収支及び財産の状況 (一般会計)

①資金収支計算 (H30.4.1~H31.3.31)

千円

	決算	補正予算 30.11	差異
事業活動収入	118,998	115,865	3,133
事業活動支出	110,225	110,960	△735
事業活動資金収支差額	8,773	4,905	3,868
施設整備等資金収支差額	△45,884	△45,355	△529
その他の活動資金収支差額	265	0	265
予備費	0	0	0
資金収支差額	△36,845	△40,450	3,605

②資産・負債比較 (H30.3.31)

千円

	当期 H31.3	前期 H30.3	増減
流動資産	43,700	79,847	△36,147
固定資産	150,140	114,643	35,497
資産合計	193,840	194,490	△650
流動負債	7,500	6,874	626
固定負債	35,097	38,385	△3,288
負債合計	42,597	45,259	△2,662
純資産	151,242	149,231	2,011
負債、純資産合計	193,840	194,490	△650

(3) 今後取り組むべき課題

- ①事業所としての重点課題(多機能、放課後等デイ、ホーム)
- ②国や行政、地域社会への働きかけ
- ③事故防止の取り組み
- ④職員の専門性及び資質向上
- ⑤作業や活動を通しての仲間支援
- ⑥生産性・売上の向上、工賃アップ

2. 事業別の活動概要

(1) 実施事業の種類及び利用実績等

①就労継続支援B型		事業所番号	4410200069	
平成26年10月24日指定		定員	20名	契約数 35名
開所日数	263日			期首契約数 32名
延べ利用日数	6,478人日(6,272)	日平均利用数	24.6人/日	
年給付費	43,171,030円	平均日給付	6,664円(30予6,575円)	
備考	開設 平成19.1.1(単独指定として)			

②生活介護		事業所番号	4410200069			
平成26年10月24日指定		定員	6名	契約数	13名	
開所日数	241日				期首契約数	11名
延べ利用日数	1,439人日(1,179)	日平均利用数	6.0人/日			
年給付費	11,380,610円	平均日給付	7,908円(30予7,828円)			
備考	開設 平成22.7.1(多機能の指定事業所として)					

③放課後等デイサービス		事業所番号	4450200144			
平成26年10月23日指定		定員	10名	契約数	17名	
開所日数	241日				期首契約数	16名
延べ利用日数	2,053人日(2,199)	日平均利用数	8.5人/日			
年給付費	18,023,370円	平均日給付	8,779円(30予8,716円)			
備考	開設 平成25.1.1					

④共同生活援助(グループホーム)		事業所番号	4420201685			
平成30年3月20日指定		定員	8名	契約数	8名	
開所日数	357日				期首契約数	7名
延べ利用日数	1,877人日()	日平均利用数	5.3人/日			
年給付費	21,769,121円	平均日給付	11,598円(30予9,925円)			
備考	開設 平成30.4.1					

⑤短期入所(ショートステイ)		事業所番号	4410201679			
平成30年3月20日指定		定員	2名	契約数	28名	
開所日数	299日				期首契約数	名
延べ利用日数	214人日()	日平均利用数	0.7人/日			
年給付費	1,946,598円	平均日給付	9,096円(30予5,279円)			
備考	開設 平成30.7.1					

⑥相談支援		利用:(者)61(児)12(計)73名			
地域移行、地域定着相談支援					
平成26年10月24日県指定		事業所番号	4430200628		
特定相談支援(障害者のサービス利用、更新等)					
平成26年10月30日市指定		事業所番号	4430200628		
障害児相談支援					
平成26年10月30日市指定		事業所番号	4470200181		

(2) 多機能作業所(生活介護、就継B型)、放課後等デイサービス事業所、グループホーム(ショートステイを含む)事業所の各事業総括は本報告書末尾に添付

(3) 苦情、事故

- ・ 苦情受付 なし
- ・ 事故報告 なし

3. 理事会・評議員会開催状況

(1) 理事会

第1回理事会 平成 30.5.27 6名出席

- ・業務執行状況報告について
- ・H29年度事業報告について
- ・H29年度決算及び監査報告について
- ・クッキー製造機器の導入について
- ・定款(基本財産)、経理規定(サービス区分追加)変更について
- ・理事長専決事項報告について
- ・その他(評議員会の開催日程、次回理事会日程)

第2回理事会 平成 30.11.18 6名出席

- ・職務執行状況の報告
- ・H30年度上半期の収支実績報告及び補正予算について
- ・冬季賞与支給及び次年度人件費の組み立てについて
- ・諸規定の変更について(就業規則)
- ・理事長専決事項の報告について
- ・その他(評議員会日程・議題、次回理事会日程、内籠市営住宅再開発対策)

第3回理事会 平成 31.3.3 6名出席

- ・業務執行状況報告について
- ・平成31年度事業計画について
- ・平成31年度予算について
- ・理事長専決事項の報告について
- ・その他(役員改選、次回理事会及び評議員会の日程と議題)

(2) 評議員会

第1回評議員会 平成 30.6.17 6名出席

- ・業務執行状況報告について
- ・H29年度事業報告について
- ・H29年度決算及び監査報告について
- ・クッキー製造機器の導入について
- ・定款(基本財産)、経理規定(サービス区分追加)変更について
- ・理事長専決事項報告について
- ・その他(次回評議員会日程)

第2回評議員会 平成 30.12.2 6名出席

- ・職務執行状況の報告
- ・H30年度上半期の収支実績報告及び補正予算について
- ・冬季賞与支給及び次年度人件費の組み立てについて
- ・諸規定の変更について(就業規則)

- ・理事長専決事項の報告について
- ・その他（次回評議員会日程、内竈市営住宅再開発対策）

第3回評議員会 平成31.3.24 6名出席

- ・業務執行状況報告について
- ・平成31年度事業計画について
- ・平成31年度予算について
- ・理事長専決事項の報告について
- ・その他（役員改選、次回理事会及び評議員会の日程）

4. 職員研修の状況

研修名称・テーマ等（主催者）		日時	参加者
（1）事業所内研修			
1	多機能事業所職員研修 [テーマ]自己肯定感・自己有用感・ 自己決定能力を育む	・奇数月、各部門の会議 を充て事例研究 ・偶数月、全体研修、外 部講師講話 ・平成30.10.15	・所属部門全員参加 ・救急救命(AED)講習
2	放課後等デイ職員研修	毎月1回、事例研究	全員参加
3	グループホーム	・前年1月より9回実施	・介護技術、リフトの操作、救急 救命等のテーマで実施 ・全員参加
（2）事業所外研修			
1	全障研宮崎大会(九州ブロック)	平成30.6.9	北野
2	療育セミナー	平成30.6.17	高石
3	障がい者の働く場 パワーアップ フォーラム ヤマト福祉財団（福岡）	平成30.7.13	久保
4	きょうされん九州ブロック大会 （長崎）	平成31.2.16-17	出田、杉山、福島（レポーター） 永松、大海
（3）総合支援法等制度関連研修			
1	大分県：サービス管理責任者研修（ 生活介護）	平成30.7	佐藤とよみ
2	大分県：相談支援従事者現任研修	平成30.2.5	久保
3	大分県：強度行動障害支援者養成研 修	平成31.2.25-26 平成31.3.4-5	福島
4	大分県：療育担当職員基礎研修	平成31.3.19	中西

5. 借入金

- (1) 独立行政法人福祉医療機構 金額¥30,000,000 償還 20 年 利率 0.55%
当期元本償還¥1,620,000 支払利息¥160,822 期末残高¥28,380,000
- (2) 株式会社日本政策金融公庫 金額¥12,000,000 償還 7 年 利率 0.85%
当期元本償還¥1,740,000(累計¥1,995,000) 支払利息¥88,709
期末残高¥10,005,000

6. 補助金

- (1) 施設・設備整備関係
 - ・(財)ヤマト福祉財団ステップアップ助成金
*H30.8.23 助成金交付 ¥2,000,000 (クッキー製造機器)
- (2) その他の補助金
 - ・大分県労働局 職場定着助成金(リフト、入浴装置)
*H30.10.26 助成金交付 ¥1,500,000

7. 登記事項

- ・平成 30.6.26 資産総額の変更(平成 30 年 3 月 31 日現在)

8. 監査

- (1) 法人監事による監査
 - ・平成 30.5.21 事業報告書、決算、現金出納帳等現金扱いの経理状況
- (2) 大分県及び別府市等関係行政による監査
 - ・なし